



歌川広重「東都名所(幽斎書) 高輪之明月」より構成

🔔 2019年度後期が始まりました！

大型台風19号の襲来で被害に遭われた、川崎市や各地域の皆さまに心からお見舞い申し上げます。

さて、2019年度後期は、延べ3,500名(うち新規250名)を超す受講生の方々とともに開講しました。

川崎市文化賞を受賞された太田学長のご指導のもと、多くのコーディネーター・先生方のご尽力により、①新しい科学の世界Ⅱ(未知に挑んだ科学者たち)、②アジア航測との連携講座(生物から自然を診る)の新2講座を含む、充実した55講座・ワークショップをご準備いただきました。

後期はまた、楽しい行事が相次いで開催されます。

- ・11月9日(土)・10日(日) フェスタ'19(学園祭)
- ・3月12日(木) 受講生のつどい(修了式・謝恩会)

初めて受講される皆さまも是非、イベントをお楽しみください。

太田 猛彦学長 川崎市文化賞受賞!!



太田 猛彦学長が2019年度川崎市文化賞を受賞されました。

大学・学会を中心とした豊富な職歴、役職歴の中で培った知識・

経験を活かし、アカデミーを全国有数の規模・クオリティを持つ市民大学まで発展された業績は大きく、川崎市の生涯学習教育・市民文化の向上に貢献されたことが受賞の理由でした。なお贈呈式は11月7日(木)川崎市国際交流センター ホールにて行われます。

❖❖❖ご寄附のお願い❖❖❖

寄附金 1口 1,000円(口数の上限はございません)

ご寄附は将来を見据え、安定した運営につなげるように使います。

1. 講座の一層の充実を図り、市民の皆さまの生きがいと地域づくりの推進
2. 受講生の学習成果を生かしたボランティア活動による社会貢献の推進
3. 学習の成果を記録(出版)し、市民の皆さまにアカデミーでの学習機会の提供

※ 教室の受付で、ご寄附のお願いチラシ、郵便振替用紙をお渡ししています。

※ ご寄附をいただいた場合、税額控除が受けられます。

※ 問い合わせ先 かわさき市民アカデミー事務局 電話 044-733-5590

🔔8月度理事会の報告

2019年度第4回理事会(8月27日-火)、15時30分 開催

1) 主な審議事項

- 後期の講座・WS担当理事について
- ・教室とNPOとの橋渡し役を務める講座・WS担当理事が決まりました。



2) 主な報告事項

- 4部会(総務、事業推進、広報、地域連携部会)からの報告
- ・7月31日(水)運営代表世話人会議が開催されました。
- ・受講生への「寄附のお願い」について150万円を目標に支援をお願いいたします。



◆SDGsをテーマにフェスタフォーラム開催!

「SDGs-持続可能な社会をめざして」をテーマに、小宮山宏元東大総長の講演と、小宮山氏、中村桂子氏、吉原毅氏、太田猛彦学長と多彩なメンバーによるシンポジウムを開催します。この機会に「持続可能な社会」について考えてみましょう。

◆講座・WS等々の企画・今年も増えました!

「環境とみどり講座・WS」の展示、「政治・社会WS」の公開グループ討論と展示、「芸術WS」受講生の作品展、「フロンティア」の講演と映画に加え、「子育て支援講座」によるフォーラムが新たに仲間入りしました。

◆受講生が活躍! 活動グループによる子ども向け体験講座!

受講生が活躍する「おもしろ実験クラブ」「省エネグループ」「バルーン工房上野」「サイエンス工房」による子ども向けの体験講座を初めて企画しました。参加お待ちしております。

◆地域の団体・グループ等の協力に感謝!

中原区文化協会は多様な文化活動の発表やワークショップ。また、社会福祉法人しいの実会とNPO法人たかつdeほっとの手作りお菓子の販売、JAセレサの地場野菜や花卉の販売などがあります。

◆今年の掘り出し物は?

古本市・バザーやります! 良書・良品の提供をお願いします!

その他、沢山の企画を用意しています。詳細は、プログラムまたはアカデミーのホームページをご覧ください。

フェスタのサポートスタッフ大募集

古本市・バザー・受付・会場の準備等、お手伝いいただける方

申込用紙はNPO事務局内に用意しております。

※問い合わせ先 NPO事務局 電話 044-733-5590



東京新聞コラムへの掲載原稿募集 !!

1. テーマ『アカデミーと私』

アカデミーの学園生活の中での「出会い」「感動」「学ぶ楽しさ」等々、心に残るお話を募集いたします。サブタイトルは自由です。

2. 掲載について

- 原稿字数 タイトル、お名前を含む 400 字程度
- 提出期限 10 月 31 日 (木)
- 原稿届け先 受講講座、お名前、ご住所、電話番号をご記入の上、
かわさき市民アカデミー事務局まで FAX 044-722-5761
E-mail : info@npoacademy.jp
- 原稿選考 かわさき市民アカデミーコラム担当・東京新聞川崎支局

🔔 話題の講座のご紹介

講座 22 音楽Ⅱ「世界音楽の今昔を楽しむ」(後期)

代表世話人 仙波 大輔

音楽Ⅱは、毎年前期は音楽評論家の丹羽正明先生、後期は国立音楽大学教授横井雅子先生を講師にお迎えしています。期毎に音楽に関わる様々なテーマを設けて、楽しみながら音楽を学習する講座です。

丹羽先生の講座は変奏曲や交響曲等クラシック音楽の形式や類型等を中心に、より豊かな音楽の世界を学ぶことを目標にしています。本年前期は演奏会やコンクールの舞台裏やコンサートホール等について先生のご経験も交えて講義いただきました。

横井先生の講座は世界各地の民族と音楽の関わりや楽器の変遷等、先生のフィールドワークを中心とした興味深い内容です。また、每期2回、世界の民族音楽の演奏家によるコンサートも実施しています。写真は2015年の講座でのバリ・ガムランの舞台風景です。

本年後期は「人は音楽に何を託すか」と題し、音楽と技術の関わり等について講義いただきます。



ガムランの舞台風景

🔔 新講座のご紹介

講座 31 新しい科学の世界Ⅱ「未知に挑んだ科学者たち」

代表世話人 高橋 邦晴

「科学技術の進歩は直線的に行われるのではなく、突然『どんでん返し』のようなことが起こって、新しい世界が開ける…(講座概要)」

と言っても、新しい世界は突然天から降って来るわけではありません。科学者たちの気の遠くなるような研究活動の中から、それまでの常識を覆すような「発見」「改良」や「理論」が出現するのです。そんなドラマチックな一瞬を取り上げて、科学の面白さ・奥深さを伝える新しい科学講座です。理系・文系を問わず、科学に興味をお持ちの皆様ぜひ受講していただきたい講座です。



初回の講座風景

🔔 コーディネーターの先生にお聞きしました

「コーディネーター」って何？

副学長 馬場 康雄(エクセレント、世界史)

かわさき市民アカデミーとのなれそめは他のところ(『楽しい学びの園で』)に書いたので、そちらに譲ります。アカデミー創立期から25年の間に名称は同じでも内容が変わった制度がいくつかありますが、「コーディネーター」(以下Cと略)はその最たるもので、創立期には演習(現在のWS)の運営が主な仕事だったのです。今は名称にふさわしく、プログラム策定(講座の企画提案、各回の題名の決定、担当講師の選任)が任務になっています。それでも、学習プログラムの最終決定機関である「カリキュラム企画・編成委員会」のメンバーであるCとそうではないC、毎学期プログラム策定に関与するCと、一学期かぎりのCがいて、外に向かって説明するときに苦労します。

私は世界史講座とエクセレント講座ⅠとⅢを恒常的に担当していますが、自分の専門分野(私の場合は19~20世紀のヨーロッパ政治史)との関りだけでプログラムを作ったら、2、3年でアイデアもエネルギーも干上がってしまいます。それを5年以上続けてこられた理由は二つあります。一つは、自分の専門外の分野で適任のプログラム策定者を探す仕事、いわば「CのC」に重点を置くこと、もう一つは、各講座の世話人やNPOのエクセレント委員会のメンバーと協力して仕事にあたることです。特に後者は重要で、これがある限りあと数年はCの仕事が続けられると思っています。

「消えた物・変わらぬもの・増えた物」

樹木医 石井 誠治(みどり学)

昭和は64年、平成は31年。かわさき市民アカデミーは25周年を祝いました。60才から関わられている方は85才に、40代からの者は65才を超えました。この25年間で身の回りから消えた物。ヒバリの声とアマガエル。いずれも生活環境が失われたためです。原っぱや雑木林も建物が建って減りました。電話ボックスや丸くて赤いポスト。路地で遊ぶ子供。木登りや水辺で遊ぶ水餃鬼。昭和が遠くなり、平成の文字が消えました。

変わらぬものは人情。おもてなしの心。日本人らしさ。謙虚で誠実で心配りのできる態度。だんだん心もとなくなってきました。



1941(昭和16)年に作られた船頭さんという童謡では、今年六十のおじいさんと歌われていますが、78年後の現在では60代はまだ中年です。定年の延長は10年程ですが、健康寿命はもっと延びているようです。具体的な卒業がないかわさき市民アカデミーでは、元気に年を重ねている方が増えています。お爺さんの意識が消え、前向きの学習意欲は変わらず、元気な高齢者が増えているかわさき市民アカデミーが益々発展していかれることを期待しています。

編集後記

太田猛彦学長が川崎市文化賞を受賞されました。

(9月17日発表)

お祝いの言葉を差し上げますと、「この賞はアカデミーそのものに与えられたものだと思っています。これからもアカデミーが持続していくことが重要だと思います」とお話をされました。

アカデミーは、NPO法人として11年前「市民による市民のための市民大学」に生まれ変わりました。アカデミーの持続的運営を受講生の皆さまをはじめ関わる全ての方たちと考えてみたいと思います。(かわら版編集委員 K.O.)

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話：044-733-5590

FAX：044-722-5761

問合せメールアドレス：

info@npoacademy.jp

ホームページ：

http://npoacademy.jp/